じんせい
小島すみ江　日高クリニック看護師長
SOCIAL MEDICAL CORPORATION JINSEIKAI　社会医療法人仁生会細木病院グループ情報誌
2019（令和元）年
5
No.389

あうん高知

第20回 高知県介護老人保健施設大会開催

3月10日、高知県立美術館ホールにおいて、第20回高知県介護老人保健施設大会が開催されました。主催は、高知県介護老人保健施設協議会で、会長は細木秀美理事長・老人保健施設あうん高知施設長が務めています。当日はあいにくの雨天でしたが、足元の悪い中、県内の会員施設および一般参加の皆様を含め240名余りの参加がありました。

第20回記念大会のテーマは、『明日への活力に「あなたの心を今一度洗濯致し申候」～福祉を志した頃の気持ちを大切に～』とし、会員職員に対しては、福祉を志した頃の気持ちを思い出し、心のデトックスを図ろう、そして明日からまた笑顔で利用者さんに寄り添っていこうという願いを込めていました。また、一般参加者の皆さんには、介護現場への正しい理解につながるよう期待した内容としました。あうん高知および関係事業所から20名以上の職員が参加し、受付などの大会運営にも関わりました。

開会に際して挨拶する細木秀美高知県介護老人保健施設協議会会長

特別講演は、「この世はみんなの花を咲かせに来たところ」と題し、五台山竹林寺の海老塚和秀住職から、思いやりや感謝、気づきなど、忙しい日々の中で忘れがちな、しかし、一番大切なことを再確認できる講話を聴かせていただきました。

続いて、新人介護職員が認知症利用者との交流を通して成長する映画「ケアニン」が上映されました。ご家族から厳しい言葉を投げかけられることもありつつ、戸惑い、悩みながらその利用者の最期を看取るストーリーです。ケアニンとは、”ケアを提供する人“。介護福祉士などという小難しい資格名よりずっと分かりやすくていいだろうという主人公の上司の言葉からきています。上映会の途中から、会場のあちらこちらからすすり泣きが聞こえ、ハンカチやタオルで顔を覆いながら観ている方が大半でした。あうん高知でも多くの看取り経験をさせていただいています。職員から、「映画の最中に、今までにお世話させていただいたいろいろな方のお顔が浮かび、恥ずかしいくらい泣いてしまいました。いのちを通して学ばせてもらったことを忘れず、明日からまた頑張ります」と感想を聞かせてくれました。

高知県内には、今年4月1日現在で31の介護老人保健施設があり、そのうち、9割超の28施設が高知県介護老人保健施設協議会の会員施設となっています。この協議会は、公益社団法人全国老人保健施設協会という全国の介護老人保健施設で組織する団体の高知県支部としての役割も担っており、会員施設からの会費で県大会や研修会などを催し、組織化に努めています。介護老人保健施設に求められる役割を果たし、災害対策や地域包括ケア推進のため、これからも情報発信や会員施設の横断的なつながりの形成、自己研鑽を継続していきたいと思います。

令和元年の第21回大会は、6月30日に夜須公民館マリンホールにおいて開催する予定です。一般参加は無料ですので、ぜひご参加ください。詳細につきましては、協議会事務局（あうん高知・小松☎088-846-1515）までお問い合わせください。

（あうん高知副施設長　小松雅理）

三愛病院

中村寿宏 三愛病院副院長 就任挨拶

中村 寿宏（なかむら としひろ）
副院長

糖尿病、生活習慣病を主に診療している。
日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医・研修指導医、日本腎臓学会腎臓専門医、総合診療領域特任指導医、臨床研修指導医、医学博士、高知大学医学部臨床教授

このたび、4月1日付で三愛病院副院長に就任いたしました。

平成12年に高知大学医学部附属病院より出向し、県立幡多けんみん病院、あき総合病院と勤務したのち、平成25年4月に細木病院に着任しました。以来まだ6年ですが、総合診療科部長、糖尿病センター長、診療部長、臨床研修プログラム責任者など、さまざまな業務を経験させていただきました。多くの職員の皆さんの協力をいただき、たくさんの患者さんの診療に関わることができました。また若い研修医の皆さんと接し、貴重な刺激をいただきました。充実した有意義な経験をさせていただいたと思っております。細木病院の患者さん、職員の皆さん、同僚医師の皆さん、ありがとうございました。細木病院では非常勤になりますが、今後も外来診療を続けさせていただきます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

三愛病院は、細木病院のグループ病院です。地元地域の皆さんの医療、介護、福祉に貢献することを使命としています。職員の皆さんとともに、チームとなって取り組み、「三愛病院にかかってよかった」と思っていただけるよう、微力ながら頑張っていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

三愛病院

第2回地域健康セミナー開催！ ～泌尿器科医師によるがんのお話～

3月9日、三愛病院5階会議室において、第2回地域健康セミナーが開催されました。前回に引き続き、当院泌尿器科科長山本志雄医師が「泌尿器科医師によるがんのお話」と題して講演を行いました。また、各専門職による「よろず相談コーナー」のほか、無料検査等の実施もあり、25名の方にご参加いただくことができました。

講演は、「前立腺・膀胱がんの検査法や治療法」を中心にしたもので、特に、前立腺がんの早期発見につながるPSA（前立腺特異抗原）検査の意義について、先生の経験とデータをもとに話されました。PSA検査は、前立腺がんの発見と治療の有効性の判断に有効で、PSAを受けることで、前立腺がんで命を落とすリスクや、がんが転移するリスクが下がるなどの利点について説明されました。また、前立腺がんの危険因子の一つは「年齢」で、50歳を過ぎると罹患率が急激に増加するため、50歳を過ぎたら1年に一度は検査を受けるよう推奨されていました。

「抗男性ホルモン療法は中止してもいいのですか？」との参加者からの質問に対して、「中止はしない方がいいでしょう、中止する場合でもPSAによる経時的な経過観察が必要です。中止した時は良好でも、後に前立腺がんが再燃した患者さんを経験しています」と、PSA継続の必要性などを話され、参加者は真剣な表情で聞き入り、がんの早期発見に対する意識の高さが感じられました。

講演終了後の相談コーナーでは、食事やお薬のことなど、普段気になりながらも、気軽に相談できていなかったことが聞けて、ご満足いただけたようです。

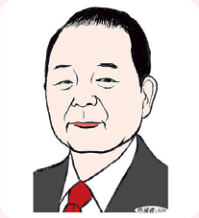
今回は、男性参加者には無料でPSA検査を、女性にはエコー検査を先着10名まで実施し、どちらも好評でした。

今後もこのようなセミナーがあれば参加したいとのご意見をたくさんいただきました。次回も皆様からのご意見をもとに検討していきますので、ぜひご参加ください。

（医事課副部長　大藤幸一
医療相談室主任　澤田恵里）

時事エッセー

細木病院グループのルーツ



仁生会理事長
細 木 秀 美

昭和61年に父が急逝してからもう34年になる。最近、ある人から、県庁に昔の個人の公的な歴史が残っている、という話を聞いた。そこで調べてみると、父は、昭和18年に召集されて陸軍の軍医として入隊。激戦の地、ビルマの戦線に3年近くもの間、送られていた事実が記されていた。父は、昭和15年3月に名古屋帝国大学医学部を卒業時、配属将校の教練検定に合格していた。卒業後、帰省してすぐに母と結婚して、高知市内の病院（当時の楠病院、後の西内病院で、今はない）に勤務していたが、その後、高知県の山間の高岡郡越知町で内科医院を開業した。結構、患者さんには人気があったらしい。しかし、昭和17年7月10日、教育召集を受け、香川県善通寺市の歩兵第112連隊の補充隊に応酬され、第3機関銃中隊の衛生兵に配属される。8月8日、善通寺陸軍病院（今のこどもと大人の医療センター）に転属となり、10月7日、教育期間を満了して、召集解除されている。父の残した日記には、この教育期間中に、高知市の島本茂太郎先生（島本病院創設者）と一緒だったと書かれている。しかし、間もなく12月16日、陸軍予備員候補者として召集され、善通寺陸軍病院に衛生伍長として入隊し、12月26日退営していた。昭和18年5月5日、歩兵第144連隊に臨時召集され、144連隊付き軍医少尉となる。9月14日、当時、海外への出兵の一大軍港だった九州の門司港より輸送船にて日本を離れ一路南下し、タイのバンコクに10月15日に到着。11月19日、泰緬（タイとビルマ、現在のミャンマー）国境を通過し、激戦のビルマ戦線へ向かう。12月1日、144連隊本部付き軍医として、12月19日、ビルマのラングーン（現在のヤンゴン）に到着し、昭和19年1月30日から5月31日まで、「ハ号」作戦の戦闘に従軍する。その後、昭和20年8月13日まで、盤及亮作戦（？）に参戦し、敗戦に敗戦を重ね、多くの戦友を失いながら敗走を続け、8月14日に終戦を迎え、武装解除される。ベトナムのサイゴン（現在のホーチミン）の捕虜収容所に収容されていたが、昭和21年4月29日、サイゴンの南の町サンジャクから復員輸送船に乗り、帰国の途につく。5月8日、広島県大竹市に到着し、九死に一生を得て、祖国日本の土を踏むことができた。法律的には、5月9日、召集解除となって、復員完結と記されているが、直ちに、高知市西町の両親の元へ帰って来ている。

昭和54年当時の細木病院本館

私たち兄妹は、戦争中は母親と一緒に、越知町の奥の五味という小さな部落に疎開していたが、終戦後すぐに、西町へ帰って来ていた。父が復員時、軍隊の靴下に入れて持ち帰った乾パンの中の金平糖が不思議なくらい甘くておいしかったことを鮮明に覚えている。父は、帰国後すぐに、144連隊で親友だった、三重県に住んでいた小谷啓介副官の母親へ当てて、終戦直前のビルマでの戦闘で砲弾を浴びて戦死した戦友の最期を、綿々と書いた手紙が残っている。そして、父は帰国後、間もない7月1日に、まだ、体力も充分回復していないと思われるころに、両親の2階建ての家を少し改修して始めたのが、細木病院の前身の細木診療所である。父は、昼夜を違わず診療に励み、たくさんの外来患者の診察後も、遅くまで何十件もの往診にも出掛けていたと、その当時勤めていた看護師から聞いている。父は、自転車に乗れなかったので、高知市内の医師では最初に自動車を買って往診に出掛けたようだ。ビルマ戦線の行軍で歩き過ぎているから、車にしたと聞いたことがある。開院したばかりの診療所の玄関には、一匹の南洋の猿が飼われていたが、戦線で肩に乗せていた猿が懐かしかったとも聞いている。この猿は、高知動物園が高知城の下に開設された時に、当時の竹内園長先生に求められて手放したらしい。私は手を噛まれて、憎かったが…。ついでに、思い出したが、その頃には高知動物園にはもう象がいた。小学生だった私が、この象の背中に乗せてもらった思い出がよみがえった。おそらく、当時の小学生では、最初だったのかなあと思う。

もし、父が帰って来ていなければ、私は医師になっていなかっただろうし、当然、細木病院もない。人生の大部分は、大きな運命に左右されて流れていると、つくづく思う。もちろん、わずかな努力は必要だけれども…。皆様も、ぜひ、自身の両親や先祖の生い立ち、若い時の記録を紐解き、こんなことがあんなことがあって今がある…と感じてほしいなあと思う。

細木病院グループは、高知県から、介護職員の育成や定着、利用者満足度の向上に向けて積極的に取り組んでいる介護事業所として認証を受けています。

仁生会

健康と医療を考えるフォーラムで細木理事長講演

3月17日、高知県立県民文化ホールにおいて、高知「新老人の会」・四国連合と高知新聞社の主催による「健康と医療を考えるフォーラム」が「自分の健康は自分で守る」をテーマに開催されました。高知「新老人の会」は、平成29年に105歳で亡くなられた日野原重明先生が生前提唱された新老人運動の趣旨に賛同する方々の集まりとして平成12年に発足。高知には平成17年に支部が設立し、平成30年より高知「新老人の会」として活動されています。

フォーラムでは、細木秀美理事長が「人生100年時代」と題して講演されました。そのほか、医療法人大和会の福田善晴理事長が「新しい時代をどう生きるか」、医療法人恕泉会の内田泰史理事長が「認知症は予防できる、治せる」と題して講演されました。

細木理事長は講演で、高知県の現状として、全国都道府県との比較において、森林面積83％で全国一森林が多い中、県民の45％が高知市（人口34万人）に住んでいて、65歳以上の高齢化率は32・9％で全国2位である一方、60歳未満のすべての年齢層で全国より死亡率が高くなっており、過疎高齢化が著しいこと。また、高知県民は、糖尿病患者や高血圧患者が多く、肥満傾向が高い状態であり、考えられる要因として、運動不足やアルコール摂取量が多いこと、喫煙率が高く、健診受診率が低いことを挙げられました。

人生100年時代を見据えて、健康で生き生きとした生活を過ごすうえで、日ごろの生活習慣に警鐘を鳴らす内容でした。

細木病院

これからの認知症ケアについて講演会開催

3月4日、細木病院と細木ユニティ病院の再統合にあたって、今後の認知症ケアの充実を図るために、高知大学医学部神経精神科教室教授の数井裕光先生をお招きして、「これからの認知症ケアについて」と題し、ご講演いただきました。数井先生は、鳥取大学医学部を卒業後、大阪大学医学部神経精神科に入局され、兵庫医科大学救命救急センター、兵庫県立高齢者脳機能研究センター、大阪大学講師を経て、平成30年1月に高知大学医学部神経精神科教室教授に就任されています。経歴からも分かるとおり、認知症臨床の中枢を担っておられる先生です。この先生が高知に赴任されたことは、今後の高知県における認知症治療に多大な力になると期待されるところです。

講演の内容は、高齢化の現状と将来の予想、認知症がごくありふれた病気になるということ、認知症の原因、鑑別方法、治療法などを分かりやすく説明していただきました。また、以下のことも非常に印象的でした。

①正常圧水頭症が脳外科的治療により劇的に改善される動画

②早期診断、早期治療を始めることにより、認知症の進行を遅らせ、もうすぐ出現するであろう根本的治療法につなげることが大切であること

③認知症に伴う困難性である行動・心理症状（BPSD）に対して、数井先生が生活での解決策の統合化を目指して、インターネット上にて全国的に展開している「認知症ちえのわねっと」の紹介

認知症とは現在を生きている人であり、一部の不調があるのみで、その他はまったく問題がないことを認識し、対応すべきであることを強調されていました。また、最後に、認知症になったがゆえに花開いている画家の紹介もありました。

（こころのセンター長　吉岡隆興）

細木病院

初期臨床研修 初年度を振り返って

研修医　加藤亜里紗

時間が経つのは早いもので、研修医1年目が終わり2年目に入りました。1年目はたくさんの先生方にご迷惑をかけながらも、多くのことを教えていただきました。そのおかげで、初めの頃は右も左も分からず困惑することもありましたが、今では少しずつ業務に慣れてきたのかなと感じています。3月に行われた初期研修修了式で2年目の先輩方が卒業する姿を見て、もう1年で初期研修が修了してしまうことをひしひしと感じ、あと1年を有意義に過ごしていこうと強く思いました。

これからもたくさん迷惑をかけると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

研修医　長澤隆暁

ほんの少し前に「じんせい」で1年目研修医としてご挨拶をさせていただいたと思ったのですが、1年経つのは早いものです。右も左も分からない状態から始まった初期研修ですが、1年が過ぎた今でも、さまざまな診療科を回るたびに、自分の経験不足や勉強不足を思い知らされる日々が続いています。そんな中でも、指導医や上級医の先生方をはじめコメディカルの皆様、そして何より患者様から少しずつであってもさまざまなことを学ぶことは、自分にとって大きなやりがいでありモチベーションでもありますし、そうして身に付けた経験や知識をこれから先に生かしていかなければいけないと思います。

研修医　丸岡日向子

初期研修の残り1年、まだまだいろいろとご迷惑をおかけするかと思いますが、精いっぱい精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。

初期研修医1年目は、本当にいろいろなことがあったはずなのですが、いざ思い出そうとすると「あっという間だった」という感想が最初にでてきます。先輩や指導医の先生方、看護師さん、検査技師さん、薬剤師さんをはじめとするたくさんのスタッフさんにご迷惑をおかけしながらも、優しく丁寧に指導していただき、やっと少しは業務を覚えられたかなと思っているところです。細木病院の研修環境はとても温かく、いろいろなことに挑戦させていただけて、本当にありがたいです。知識量も思考力も手技も、まだまだ半人前に遠くおよばない状態ですが、1年前の自分と比べたら、できることは少し増えたように感じています。

4月からは早くも後輩ができました。後輩から見て頼りがいのある先輩か自信はありませんが、昨年度の自分にしていただいたことを思い出して、気を引き締めて励もうと思います。

細木病院

第27回糖尿病セミナー 6月1日(土)開催のお知らせ

患者さんが糖尿病についての理解を深め、病気とうまく付き合っていくにはどうすればよいかを共に考えようと、今年も6月1日（土）午前9時から正午まで、細木病院新館地下講堂において、糖尿病セミナーを開催します。

今回も『笑い』をテーマに、糖尿病のみならず健康や認知症との関わりについて取り上げます。楽しく笑って過ごすことで健康や認知症にも影響があるのかなどを皆さんと一緒に考えたいと思います。午前10時より「糖尿病と認知症」について簡単にお話しさせていただいた後、土佐のお笑い話芸の会の漫談師、間六口（まむくち）さんや落語家による「大笑いで健康増進」の爆笑寄席をお送りします。間さんは、立て板に水のごとく喋る話芸で、県内外で幅広く活躍されています。昨年のセミナーでも笑いの絶えない楽しいお話を披露していただきましたが、今回も笑って健康になる秘訣を、まさに爆笑しながら学べる楽しいセミナーになると思います。

参加費は無料です。また、今回も高知家健康パスポートの対象事業となっています。ぜひ多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

（内科長　品原正幸）

在宅ネットワーク通信

まっことネット細木 《6月の予定》

高知市上町5丁目4-1ピュアリフレビル1階
☎090-7788-1305
月～金（祝日休み）午前9時～午後4時

♠介護相談（相談無料）
月～金（祝日休み）午前9時～午後4時
♣まっこと講座「椅子に座ってできる簡単ヨガ」
12日（水）、26日（水）午後3時～3時30分
♣防災教室「緊急地震速報を聞いた時の対応行動」
21日（金）午後3時～3時30分
♣生け花教室
7日（金）午後3時～3時30分
♣マインドフルネス
11日（火）午後3時～3時30分
♣生きがい交流広場
15日（土）午後12時～1時
◆子育て広場「つみき」
4日（火）午前10時～12時
◆いきいき百歳体操
毎週月と木（祝日休み）午前10時～11時
♥参加費は無料です♥詳しくはホームページでご確認を♥

◆病院から地域へ出向く

4月19日に高知市十津にある地域交流サロンほっと館でいきいき百歳体操に参加されている70歳代を中心とした12名の方々に、細木病院まっこと出前講座「体力測定と個別指導」を行ってきました。講師は訪問リハビリテーションの橋田寿恵在宅部係長とリハビリテーション課の葛岡有功課長補佐で、握力や片足バランス、歩行速度などといった体力測定を行った後、参加者の年齢に応じて、全国平均値と比較しながら、普段の生活習慣をお聞きし、今後気をつけていただきたいことや取り入れていただきたい運動などといった個別指導を行いました。参加者からは「講座を受けてよかった」、「今までこのような機会がなかったので自分を知ることができてよかった」、「今後も定期的にこのような講座を受けたい」などといった感想をいただきました。参加者の皆様の充実した表情を見て、地域での活動の重要性を改めて認識し、大変有意義な時間となりました。

（在宅部教育係長　井上加奈子）

細木病院こころのセンター 精神科デイケア・フレンズ通信 ハロー★フレンズ

DAY展＆書道展に出展

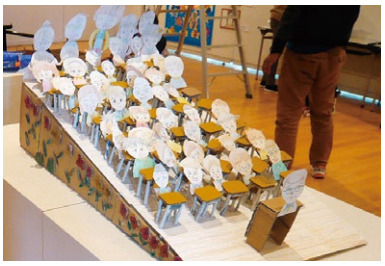
3月12日～14日に高知市文化プラザかるぽーとにおいて、第9回DAY展が開催されました。DAY展とは、高知県精神科デイケア連絡会の主催で、デイケアを利用されている方を対象に日頃取り組んでいる芸術・文化活動の発表を通して、自己表現や文化交流および社会参加の促進を図ることを目的に開催されています。精神科デイケア「フレンズ」の利用者さんもこの展覧会に出展することを目標にし、大きな会場に自分の作品が飾られることを楽しみに創作活動に邁進してきました。会場の広い壁に並んだ大作は個性や力強さがあり、準グランプリ1点と佳作4点を受賞するなど、見る人の目を楽しませてくれました。

また、3月26日～31日に高知県立美術館において開催された『桜雲書道会百人展』に「デイケアフレンズ書道部」が出展しました。書道プログラムは毎週水曜日に実施しており、桜雲書道会に所属している講師から指導を受けて、毛筆やペン字など課題をこなしながら練習を続けています。利用者さんの中には有段者や師範を取得した方もいます。

作品は、現在、北館1階の外来と廊下に展示していますので、ぜひご覧ください。

（認定心理士　黒岩恵子）

DAY展作品



準グランプリ「たのしいさんかんび」

書道展作品「魚ッ！（ギョギョッ）」、書き初めなど

ご存じですか!?

ソーシャルワーカーからのミニ情報

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の割引拡充について

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方で、旅行等お出かけの計画を立てている方に朗報です！　今年の1月16日から、航空旅客運賃の割引が始まりました。また、高知市営駐車場の駐車料金減免制度も拡充されました。

（細木病院こころのセンター患者サポート室　西森侑代）

	対象	内容	手続き
航空旅客運賃	・満12歳以上 ・顔写真付の手帳をお持ちの方 ※1名まで介護者も対象です。	・各航空運送事業者がそれぞれ設定 ※路線によって異なりますので、直接お問い合わせください。	・航空券販売窓口に手帳を提示 ※搭乗日当日が有効期限内であるものに限ります。
高知市営駐車場	・運転手もしくは同乗者が手帳を持っている方 ※高知市以外の居住者の方も減免対象になりました！	・最初の1時間までの駐車料金が全額免除	・駐車場料金所で精算時に手帳を提示

日高クリニック

〒781-2153 高岡郡日高村本郷滝ノ前7　☎0889-24-7785(代)

院長　松本和博（日本小児科学会小児科専門医）

日高クリニックのホームページ
https://hidakaclinic.jinseikai.kochi.jp/

外来担当	月	火	水	木	金	土
小児科 内科	松本	松本	休診	松本	松本	松本 (午後も診察あり)
整形外科						北岡 9:00~12:00 (隔週)

日高クリニック

地域と共にトリアージ・災害研修会開催

2月22日、グループホームひだかの里めだかホールで、第77回運営推進委員会が開催され、その中で「トリアージ・災害研修会」を行いました。グループホームの入所者さんとその家族、行政の方、地区長さんや地域の方々、職員の総勢49名が参加しました。

日高村消防隊員から、「トリアージって何だろう?」「トリアージってなぜ必要なんだろう?」との基本的な内容について、実際にトリアージ・タッグを手に取って、分かりやすく教えていただきました。

トリアージとは、災害などで多数の負傷者が出た場合に、患者の重症度に基づいて、治療の優先順位を判定（緑・黄・赤・黒の4区分）することで、限られた医療資源（医師、看護師などの数、医薬品などの量）を効果的に使用して、早期に治療をしなければならない重症患者を発見し、早期に適切な治療を受けさせることでより多くの人命を救うことを目的としています。災害発生現場では、トリアージについての豊富なトレーニングを積んだ医師や看護師、救急隊員などがトリアージを実施します。

グループホームひだかの里は、日高村で唯一の診療所である日高クリニックのグループ施設であり、日高村の福祉避難所にも指定されています。福祉避難所は、地震や風水害などの災害が発生し、避難生活を余儀なくされた場合、要配慮者（一般の避難所での生活が困難な高齢者や障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する方）が支障なく避難生活を送るとともに、できる限り早期に退所し、よりよい環境に移るよう支援することを目的としています。

大規模災害が起こった際、被害を最小限に抑えるために大きな力となるのが地域住民のコミュニケーションです。日ごろからの地域のつながりが災害時に役立ちます。

今後も、運営推進委員会をグループホームだけでなく、地域に開かれた勉強の場とすることで、地域貢献をしていきたいと思います。

外来担当医表

令和元（2019）年６月予定

細木病院

仁生会 細木病院グループ

★内科初診時は、基本的に専門の内科ではなく、総合診療科または一般内科での診察となります。

第二次救急医療施設（救急告示病院）

〒780-8535
高知市大膳町37
☎822-7211(代)

予約電話
873-3806
ただし、小児科は
820-6780

【健康管理センター】
予約電話
822-7264

（　）のドクターは兼務です。

こころのセンター

★初診の方は予約制です。（8:30以降に外来まで、お電話でご予約ください。）
〒780-8535高知市西町100
☎802-3366(代)

診療科		月 A M	月 P M	火 A M	火 P M	水 A M	水 P M	木 A M	木 P M	金 A M	金 P M	土 A M
総合診療科		堀見 上田	品原			堀見		上田		丸山	熊谷	
一般内科		篠原 猪狩	細木秀 弘瀬 丸山	松田 品原	篠原	古賀	高知大 菅沼教授 猪狩 髙橋	髙橋 弘瀬	松田 猪狩 古賀	松田	弘瀬 篠原・古賀（交代）	担当医（２名）
専門内科	呼吸器内科		小林（せき外来）	小林			小林（せき外来）（第2・4週）～15:30 新患のみ			小林	中山	
	消化器内科			中内		上田			中内	中内		
	循環器内科	高知大 瀬尾教授		細木信		細木信	中嶋	松村	細木信	西村		
	糖尿病・内分泌内科		西岡	丸山	熊谷 田口（甲状腺外来）	品原 篠原	丸山	西岡（甲状腺外来）		西山（甲状腺外来）		
	糖尿病センター	熊谷			西岡	西岡 中村	中村					
	腎臓内科				（西岡）					高知大 寺田教授		
小児科（予防接種は完全予約制）	1診	堂野	新井	新井	新井	新井	堂野	中岡	新井	堂野	堂野 ～17:30	新井
	2診	細川・中岡（交代）	堂野	齊藤	堂野	高知大医師	高知大医師 ～17:30	細川	中岡	細川	細川 ～17:30	堂野
	3診		中岡（午前診療の場合）	竹内	竹内 ～15:00	中岡	中岡 予防接種	竹内	竹内 ～15:00	竹内	竹内 ～15:00	小児科は土曜日午後も診察あり
	小児こころの外来（完全予約制）			中岡						島崎	島崎・中岡	新井・堂野 13:00～15:00
	神経小児科（予約制）		細川						細川			細川（午後のみ）13:00～15:00
外科		上地	尾崎（乳腺・甲状腺）	尾崎		上地	上地・西村	尾崎	担当医	上地	堀見	尾崎
血管外科		西村				西村						
緩和ケア科（完全予約制）				安藤	安藤			安藤	安藤	安藤	安藤	
痛み外来（ペインクリニック）				細川滋						細川滋		
整形外科（午後の診察と土曜日は手術等により変更や休診になる場合あり）	1診	北岡	担当医	山川	北岡	山川	担当医	北岡	高知大 池内教授 予約のみ	北岡	北岡 ～15:00	高知大 喜安
	2診	山川	高知大 武政	寺西	高知大 泉	寺西		寺西	担当医	山中		寺西
	小児整形外科										山川	
脳疾患センター（脳神経外科）		栗坂	（手術）	栗坂		高知大 上羽教授		栗坂		栗坂		栗坂
耳鼻咽喉科		楯		楯	（手術）	楯		楯		楯		楯
皮膚科・形成外科		野田	野田（手術）～15:30			野田				野田		野田（第３週）
泌尿器科				蘆田					山本			坪井
放射線科		耕崎志		高知大 南口 9:00～12:00	高知大 梶原 13:30～16:30	耕崎志		耕崎志	高知大 吉松	耕崎志		
セカンドオピニオン外来（完全予約制）			（細木秀）13:00～15:00									（栗坂）
内視鏡センター		中内 髙橋 古賀	中内 髙橋	髙橋 上田	中内 上田 髙橋	耕崎拓 髙橋	中内 古賀	中内 廣瀬 古賀	髙橋 上田	弘瀬 髙橋	中内 古賀	
健康管理センター（健診・人間ドック）		森下		森下		森下	森下・弘瀬	森下	森下・弘瀬	森下	森下	
乳がん		尾崎		上地				上地			尾崎	
子宮がん				濱脇								
こころのセンター 精神科心療内科	再診	吉岡	徳岡	橋田 10:00～ 岡村 10:00～	徳岡	吉岡	弘井 岡村	徳岡 岡村	弘井 橋田	弘井	高知大 須賀（第２・４・５週）	吉岡（第１・３週） 弘井・橋田（第１・３週）
	新患	徳岡			岡村	岡村		吉岡（もの忘れ外来）	徳岡	吉岡		
	内科					松田			岡村（漢方外来）（第2・4週）14:00～15:30			

三愛病院

★小児科の受付は、月・水・木・金は午後5時30分までです。（火曜日は午後5時で受付終了）

＜訪問診療＞
土曜日
9:00～14:00
担当医：大河原

〒781-8136
高知市一宮西町1-7-25
☎845-5291(代)

診療科		月 A M	月 P M	火 A M	火 P M	水 A M	水 P M	木 A M	木 P M	金 A M	金 P M	土 A M
総合診療科		武市	武市 14:00～			武市	武市 14:00～	武市	武市 14:00～	武市	武市 14:00～	武市
内科	1診	深田（糖尿病外来）	小野寺	深田（糖尿病外来）	細木秀（肥満外来）	坂本	中川	中川	高知大医師	中村	高知大 小笠原真	坂本
	2診	上村		高知大 橿尾	深田（糖尿病外来）15:30～	高知大 小笠原史（禁煙外来）	上村 ～16:30	小野寺	深田（糖尿病外来）	高知大 水田（禁煙外来）		担当医：高知大 岩崎教授（交代）
内視鏡				小野寺		小野寺		山崎				
循環器科（予約制）												高知大（第２週）渡橋教授
整形外科（月・火・土は予約制）		高知大 南場 9:30～12:00		高知大 和田 9:30～12:00		森田		森田		森田		高知大 泉 9:30～12:00
小児科		橋詰		高知大医師		橋詰		橋詰		橋詰		橋詰
耳鼻咽喉科		市川		市川		市川	市川（第2・4・5週）	市川		市川	高知大 青井	高知大 市川・梶山（交代）・葛目
皮膚科（予約制）												高知県立大（隔週）池田教授
形成外科（美容）（予約制）		三好 9:15～11:30		三好 9:15～11:30		三好 9:15～11:30				三好 9:15～11:30		
泌尿器科		山本（PM：前立腺がん外来）		山本（PM：頻尿・尿失禁外来）				山本		山本（AM：男性更年期外来）		
レディス外来					稙良							
もの忘れ・不眠外来（予約制）										上村（もの忘れ外来）	須賀（第1・3週）15:30～17:00（不眠外来）	須賀（第2・4週）9:00～12:00（不眠外来）
放射線科		岩井		岩井		岩井		岩井		岩井		岩井
健診室		担当医		担当医		担当医		担当医		担当医		

じんせい令和元年5月号（No.389）
発行人 細木秀美
発行所 高知市大膳町37 ☎(088)822-7211
印刷 株式会社高知新聞総合印刷